

with YOU

ウィズ・ユー



さまざまな 場面で



▲登下校時の通学路の
安全指導

▲地域のことを伝える
ゲストティーチャー

学校支援ボランティア

▼体験学習時の
専門的指導

▼学校環境整備・
美化活動



▲読み聞かせ



活躍中



ボランティア希望の方は、お近くの学校まで!

Check!

●●● 教育委員会の広報誌は熊本市のホームページでも見るができます ●●●

お問い合わせ先 〒860-8601 熊本市手取本町1-1 熊本市教育委員会総務企画課 TEL 328-2703 FAX 359-6951

e-mail: kyouikusoumukikaku@city.kumamoto.lg.jp

アドレス <http://www.city.kumamoto.kumamoto.jp/> (トップ→人権・学び・文化・スポーツ→教育・学校→教育広報誌「with you」)

小学校外国語活動が始まりました。

熊本市では、本年度から各小学校5・6年生において年間20時間程度の外国語活動を始めています。

さらに、来年度は年間28時間程度の実施を予定しており、平成23年度の年間35時間の完全実施に向けて段階的に取り組んでいます。

Q 外国語活動の目標は何ですか？

外国語を通じて、

- ①言語や文化について体験的に理解を深め、
- ②積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、
- ③外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しませながら、コミュニケーション能力の素地を養うことです。

中学校英語の学習と違い、英語が正しく言えることや文字を書けるようなことを目標とはしていません。外国語を用いて、楽しくコミュニケーションを図る活動を大切にしながら学習をすすめていきます。



Q どんな教材を使って授業はすすめられますか？

基本的には文部科学省から配付された「英語ノート」を使います。「英語ノート」は教科書のようなもので、学習する内容がイラスト入りで楽しく学習に取り組めるように書かれています。「デジタル版CD・音声CD」を使って、担任の先生を中心として、時にはALTの先生とも楽しくコミュニケーションをとりながら授業がすすめられます。



中学校で、35人学級始まる

熊本市教育委員会では、子どもたち一人一人の個性を伸ばし、ゆとりある教育環境を実現するために、本年度より、中学校1年生に35人学級を導入しました。

※35人学級とは、1学級の生徒数の上限を35人にした学級のこと。(国の基準は40人)

※小学校1年・2年生については、熊本県が行っている事業



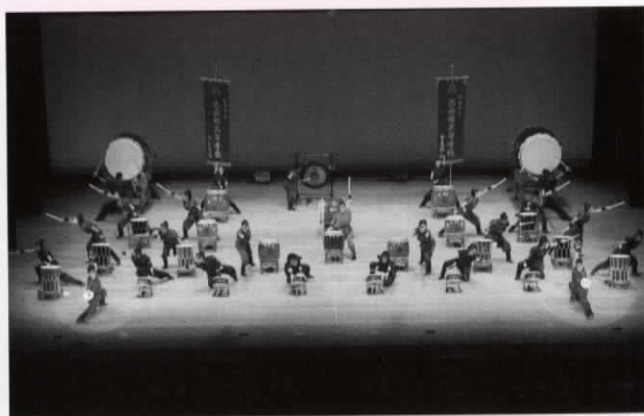
35人学級の実施学年と導入時期

学年	小学校1年	小学校2年	小学校3年	小学校4年	中学校1年
導入時期	平成15年度	平成16年度	平成18年度	平成19年度	平成21年度

必由館高校和太鼓部 「全国総文祭・郷土芸能部門」 文部科学大臣賞受賞

必由館高校和太鼓部は、平成21年8月1日に三重県伊賀市で開催された第33回全国高等学校総合文化祭郷土芸能部門で、最優秀賞の「文部科学大臣賞」を受賞しました。昨年度は、優秀賞の「文化庁長官賞」を受賞し2年連続の快挙となりました。

和太鼓部員のほとんどは高校入学後に和太鼓を習い始め、初代から受け継いできた「心をひとつに和」の精神で、部員一同練習に励んでいます。現在、「熊本市の成人式」や「火の国まつり」での演奏をはじめ、一昨年は、特に熊本城築城400年祭関連事業にも出演するなど年間に30回以上、各種祭りや地域行事で演奏活動を行っています。



【全国高等学校総合文化祭での演舞】

サンアントニオ市からの交換留学生



熊本市では、アメリカテキサス州サンアントニオ市との姉妹都市交流事業の一環として高校生の交換留学を行っています。今年も千原台高校と必由館高校に、セントアンソニー高校とインターネットワード高校から各1名を受け入れています。今年度は、7月16日

から11月20日まで受け入れています。

この間、ホームステイ先では日本の衣食住を体験し、学校では日本語の勉強や生徒と一緒に学校行事に参加して国際交流を図り、日本文化の勉強をしながら楽しい高校生活を送っています。



地デジ・電子黒板・ノートパソコン

熊本市教育委員会では、国庫補助である学校ICT環境整備事業を活用して、小中学校等における情報教育の環境整備を進めています。

まず、地上デジタル放送に対応した50インチのデジタルテレビを3教室に1台の割合で全校整備を計画しています。デジタルテレビは、大型モニターとして、様々な活用方法が期待できます。

次に、電子黒板を全校に1台整備する計画をしています。授業の中で先生が電子黒板を活用したり、子どもたちが電子黒板を使ったりすることで、子どもたちの興味や関心が高まり、授業に意欲的に参加し、表現力を身に付けることが期待されます。

さらに、教職員が授業や校務処理で活用できるように、校内LAN用ノートパソコンを整備します。



【電子黒板を使った授業風景】

